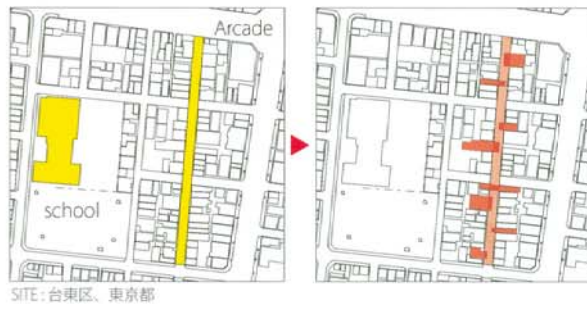




大きな廊下の小さな学校

□ CONCEPT

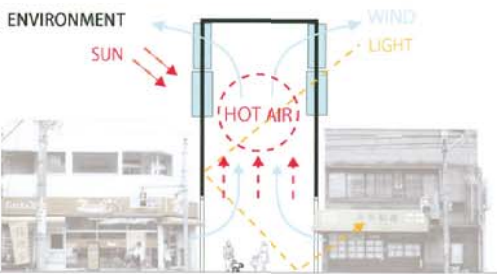
衰退していく商店街を新たな教育空間へ。かつてのコミュニティが崩壊する中で、分散してしまった人々を再び結びつける「ガラス質の道空間」を提案する。
 廃校や商店街の衰退が目立つ都心部の一角に既存の建物を利用しながら、商店街の空き店舗に小さな学校を入れ込む。両者のアクティビティが溢れ出すことで、商店街が子供たちを受け入れ、世代を越えたコミュニティを築き上げていく教育空間となる。



□ DIAGRAM

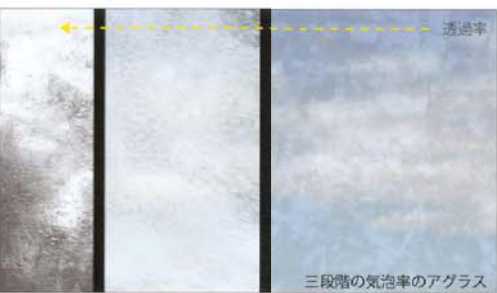


□ ENVIRONMENT

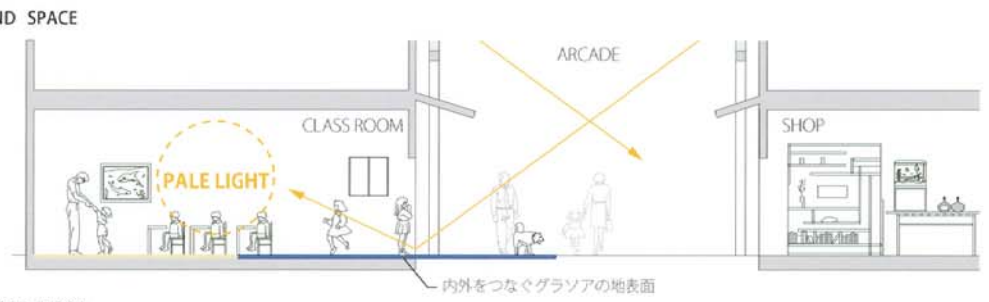


街から高く飛び出したアーケードは、気泡ガラスにより、柔らかな光を取り入れる。上部二段目までの窓は開閉式になっており、光の調節とともに、夏は暖まった空気を気圧差で外に逃がすことで新鮮な風が吹き抜ける環境を作る。冬は昼間の暖まった空気をため、温度を維持して屋内環境をコントロールする。

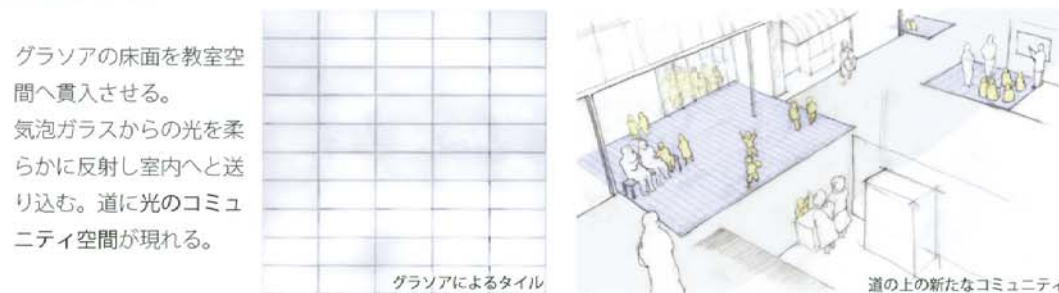
□ AGULASS WINDOW



□ GROUND SPACE



□ GLASSORE FLOOR



□ SECTION



□ PLAN

